



Welcome to the Human Network at Work



Changing the Way We Work, Live, Play and Learn

人々の仕事・生活・遊び・教育の方法を変える

ネットワークは、今や単なる情報通信の手段ではなくなり、
人々の日常の営みを支える社会基盤へと進化を遂げました。
シスコは、このネットワークを支え、
人と人とのコミュニケーションとリンクをより自由に緊密にしていくことによって、
人々の生活をより豊かなものに変えていくことを目指しています。
仕事・生活・遊び・教育。人々の日常の営みのあらゆる場面で、
ネットワークを通じて人と人が結びつき、
新たなコラボレーションが生まれる「ヒューマンネットワーク」の世界へ、皆様を導きます。

ヒューマンネットワークの可能性は無限大です。

ビジネスにおける生産性の向上、
産業やサービスのあり方を変革する新しいアイデアの創出、
個人に特化した高度なエンターテインメントや教育、
距離や国境を越えた人と人とのコラボレーション。

シスコは、世界水準にある優れた技術とサービスを活かし、
日本のヒューマンネットワークの発展に貢献しています。
そして、各国の伝統を重んじるグローバル企業として、
世界中での実績と知識経験を踏まえて、日本のパートナー企業と共に、
日本のお客様それぞれが自らの目標・目的を達成するためのお手伝いをさせて頂いております。



シスコシステムズ合同会社
社長 兼 最高経営責任者（代表者）
エザード・オーバービーク



ヒューマンネットワークの世界へようこそ

見知らぬ人同士のコミュニケーションが、新しいコミュニティやコラボレーションを形作る世界。人と人とのコラボレーションが、イノベーションを生み出す世界。人類がかつて経験したこともない、高い生産性・機動力・創造性に満ち溢れた世界。私たちは、今、このような新しい世界の入り口に立っています。この新しい世界では、ネットワークを通じて得る体験が、そのまま現実の日常生活体験になります。人々は、かつてないほど緊密につながり合い、より知的に、よりパワフルに、より生産的に、日々の生活を送るようになるのです。テクノロジーは、社会全体にポジティブな変化とエネルギーをもたらし、私たちの仕事・生活・遊び・教育の方法を変えてゆきます。

ようこそ、ヒューマンネットワークの世界へ。

人々が求め続けてきた、本当のネットワークの世界へ。

シスコは、ヒューマンネットワークの基盤であるネットワークを支え、世界中の人々をヒューマンネットワークの世界へと導くゲートウェイの役割を果たしています。

できることはすべてやる。

ENTERPRISE

生死の境をさまよう命を救う救命医療の現場。ここはまさに人々のコラボレーションの現場です。患者に最初に接した人は、まず病院の外から、病院の救命スタッフに患者のバイタルサインを伝えます。医師は、遠隔地にいる別の医師たちと、ハイスピードビデオ接続を用いて、あたかも同室に会しているかの感覚でカンファレンスを行います。外科医チームは、デジタルアーカイブからレントゲン写真をダウンロードします—それも手術中に。自宅で介護する人々も、コラボレーションの和の中で重要な役割を果たします。診療結果、処方箋、治療方法、健康維持のヒントなど、様々な情報を居ながらに入手して、介護活動に活かしています。もちろん、患者の医療情報やプライバシーは、厳重な情報セキュリティによって保護されています。ネットワークは、医療・介護に携わる人々に、新たなパワーをもたらしています。

ネットワークでつながると社会が変わる。

—ヒューマンネットワークのもとでの生活体験

私の絵、私の音楽、私の意見。

誰でもメディア王になれます。あるいは、音楽プロデューサーにも、政治評論家にも。ネットワークは単に情報を送受信するだけの手段ではありません。マルチメディアコンテンツを創り出し、多くの人々に発表披露する手段にもなるのです。例えば、十代の若いアニメーターや、悪戦苦闘しているストリートバンド。自分の作品やパフォーマンスをウェブ配信すれば、彼らが崇拜し、会うことなど叶わないと思っていた一流アーティストから、好意的な論評や励ましをもらえるかもしれません。また、ビデオで質問や意見を発表すれば、あなたも総理大臣との議論に直接参加できるかもしれません。1日7000ヒットのブログがあれば、大手マスメディアでさえも、そのブロガーに意見を求めに来るでしょう。テレビの観方もよりパーソナルになります。ホームネットワークは、あなたの生活に、数多くの出会いとリンクをもたらします。

INFORMATION

地球環境を考える。居ながらに人と会い、旅をする。

GREEN NETWORK

地球環境の保護は、あらゆる人々に重要な課題です。テクノロジーの進歩は、この難しい課題に取り組む力を与えてくれます。例えば、企業がCisco TelePresenceやWebコラボレーションを活用すれば、出張を減らすことができます。「空の旅」を減らして「電子通信の旅」に代えることで、ビジネスに支障をきたすことなく、二酸化炭素の排出削減に貢献できるのです。遠く離れたところにいる人たちとのコラボレーションを、日常的なビジネスプロセスの中に自然な形で融け込ませてしまう。これもテクノロジーの力です。一緒に働く人たちが、地理的に離れた場所においても問題はありません。いつでもどこでも誰とでも、音声・データ・映像・モバイルをひとつに融合した通信手段を用いて、まるで同じ会議室で面談しているようなコミュニケーションがとれるからです。ネットワークは、私たちに、これまでになかった高い機動力をもたらします。

お店の店員が自分を覚えていると、「その他大勢のお客さん」ではなくて、「特別なお客様」として扱われているような気分になります。そうした扱いをしてくれるお店には、特に買いたいものがあるわけではなくても、また訪れてしまうものです。ネットワークでつながった店は、あなたが誰で、いつもいつ頃来店して、何を買ってくれるお客様なのか、どのような商品がお好みなのかを、詳しく覚えています。携帯型端末を持ってお店に入ると、お好みの商品のところまで案内し、店の店員を呼んでくれます。店員が持っている携帯型端末は、あなたが来店していることをディスプレイ表示で知らせたり、タッチパネル式の移動型レジカウンターに早代わりしたりもします。会計・支払いの時間は短縮され、通路や試着室で待たされることもありません。小売店のネットワークは、それぞれのお客様にそれぞれに異なる笑顔とサービスで接する、満足度の高い対応をもたらします。

私のお店は、あなたのお店。

SMALL BUSINESS

今のプレーをもう一度観る。

NETWORK

このゲームでプレーしているのは、フィールドの選手ばかりではありません。あなたも、スタジアムのゲートをくぐれば、この魅力的なスポーツ体験に「接続」されます。携帯型端末を持っていれば、自分の席はすぐに見つけ出せます。席に座ったままで、プログラムをダウンロードしたり、食べ物や飲み物を注文したり、次の試合のチケットを購入したり、思いのままに試合観戦を「プレー」できます。このゲームのライブ映像やリプレイ映像は、スタジアムのハイビジョンスクリーンだけでなく、手元の携帯型端末にも映し出されます。選手のプロフィールや、他のスタジアムで行われている試合の状況や結果も、リアルタイムにわかります。ネットワークは、スポーツゲームと観客との関係をも変え、人々に新しいスポーツライフをもたらします。



ヒューマンネットワークを支えているのはシスコです。



プロトコルの異なるローカルエリアネットワークを相互接続するために、シスコの創業者たちが始めた小さな取り組み。そこに端を発したインターネットは、今では地球規模の情報通信インフラへと姿を変えました。今や世界中のコンピュータや電子デバイスの大部分は、インターネットを介して相互につながり、膨大な情報をやりとりしながら巨大なコミュニティを作り上げています。そして、そのコミュニティには、世界中の人々が集まり、様々な協同活動を展開しています。

現在では、多くの人々が電子メールを交換し、好きな音楽や映像をダウンロードし、Webサイトを作って自分のコンテンツを世界に向けて発信・発表しています。IP電話やテレビ会議も急速な勢いで普及しています。以前は想像もできなかった新しいライフスタイルが、現実には日常的なものとなってきています。ヒューマンネットワークは、最早「存在している」のではなく、アクティブに「働いている」のです。



シスコは、「ネットワークこそプラットフォーム（社会基盤）」というコンセプトの下で、ネットワークを支える技術や製品の開発を積極的に進めてきました。その一方で、人々がネットワークの可能性を最大限に引き出し、その恩恵を享受できるよう、数々のソリューションの開発にも努めてきました。プラットフォームとしてのネットワークは、テクノロジーのバリューチェーン全体を変革してきました。そしてイノベーションの中核として、ますます重要な役割を果たすようになってきています。

2010年までには、140億のデバイスがインターネットに接続されると予測されています。インターネットに接続されたデバイスの爆発的な増加によって、より多くのサービスがオンラインで提供され、利用できるようになります。ネットワークは、もはや単なる情報伝達インフラではなく、人々の豊かな生活を支えるプラットフォームなのです。シスコは、この変革と転換を、多岐にわたる技術・製品とソリューションとでリードし続けています。

ヒューマンネットワークの世界へようこそ。

この新しい世界を支えているのは、私たちシスコです。



NGN (Next Generation Network)

次世代IPネットワークによる 新しい概念のコミュニケーションプラットフォーム

ネットワークインフラにはこれまで様々な変遷がありました。企業が利用するWANでは、かつて主役を務めた高価な専用回線サービスは役目を終えて、IP-VPNなどのサービスに主役の座を譲り、さらには、光ブロードバンド回線の普及によって、広域イーサネットやインターネットVPNなどの新しいサービスが台頭し始めています。家庭やスモールオフィスでも、xDSLは過渡期の補完的役割を果たし終え、光ファイバーによるブロードバンド常時接続が普通になりました。しかし、IP電話が一般にも普及し、音声や動画がIPネットワーク上で流れる今日でさえも、一方で依然として利用され続けているのが、もう1つの巨大ネットワークである電話網です。そこで、両者の区別をなくし、電話網を次世代のIPネットワークに吸収統合する構想が、日本をはじめとする世界各国の大手通信事業者によって進められています。これがNGN構想です。データ・音声・映像・モバイルを、高レベルで統合するNGNの出現インパクトは大きく、これまでのネットワークの概念が大きく変わることになります。例えば、NGNでは、位置情報やプレゼンス・認証・課金・帯域制御などの処理もネットワーク側に任せられるため、今までにないビジネスやサービスが展開できるようになります。シスコは、最先端のテクノロジー・製品・アーキテクチャによって、NGNの構築を支援するとともに、NGN上で革新的なサービスやアプリケーションを実施できるようにするために、リーダーシップを発揮していきます。



Cisco CRS-1 Carrier Routing System

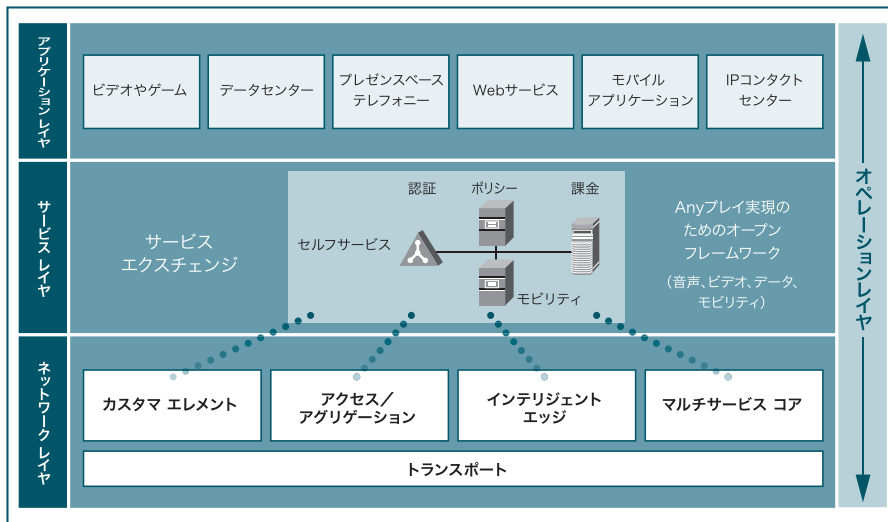
■極めて高い性能と可用性が求められるバックボーン

NGNには、電話網と同じクリティカルレベルを備え、常時100%稼働することが求められます。また、極度のアクセス集中や処理集中にも耐えられるスループットを実現しなくてはなりません。

■サービスやアプリケーションを意識したアーキテクチャ

NGNは高品質の音声通信、画像配信などの様々なサービスやアプリケーションにオンデマンドで対応できるフレキシブルなアーキテクチャであることが要求されます。

Cisco IP NGNアーキテクチャ





Cisco Unified IP Phone 7975G



Cisco TelePresence 3000

ユニファイド コミュニケーション

あらゆる場面で最適なコミュニケーション方法を提供し 人と組織の生産性を飛躍的に向上

いつでも、どこでも、誰とでも、自分にとっても相手にとっても最適な方法でコミュニケーションを実現する、シスコ ユニファイド コミュニケーション。連絡ミス、連絡忘れ、連絡遅れを徹底的に排除し、組織の俊敏性を向上させます。

どんな組織でも、人の生産性の向上こそがビジネスの成長を支えています。一方、今日では、市場環境やネットワーク環境の変化とともに、ビジネスの課題が高度化し、人々の働き方もそれにつれて変化しています。仕事は、一人で解決するものから、グループで取り組むものへ。机で完結するものから、最も効率のよい場所とタイミングで取り組むものへ。組織が生産性を向上させるには、社内外・地域を越えたコラボレーションが鍵となってきているのです。

シスコ ユニファイド コミュニケーションズ マネージャを中心としたソリューション群は、人と人をつなぐ最適なコミュニケーション環境を提供して、人と人とのコラボレーションを推進します。音声・電子メール・モビリティを統合し、いつでもどこでも、自分宛に届いたメッセージに自由にシームレスにアクセスできる**シスコ ユニファイド メッセージング**から、遠隔会議を、資料共有、発言管理、ホワイトボード共有など、様々な角度からサポートするWebコミュニケーションツール **シスコ ミーティングプレイス**、CRMを統合し、社内の知的資源にもシームレスかつリアルタイムにアクセスできる**シスコ ユニファイド コンタクトセンター**、地理的隔たりを越えて空間を共有する**シスコ テレプレゼンス**に至るまで、組織の幅広いコミュニケーションニーズに応えることができます。





プラットフォームとしてのネットワークを支える 最先端テクノロジー

ネットワークの価値と役割は拡大し続け、情報通信やコミュニケーションを支える基盤を越え、仕事・生活・遊び・教育、つまり人々の生活と社会活動全般を支えるプラットフォームへと進化しようとしています。シスコは、様々な技術の世界標準や業界標準を策定・整備する活動において中心的な役割を担い、そうした技術をネットワークを中心に据えた環境に適応させる変革をリードしています。最先端のネットワークテクノロジーを開発し、統合的かつセキュアなアーキテクチャのもとで、データ・音声・ビデオ・モバイルをひとつに統合したソリューションやサービスを展開できるよう、強力なプラットフォームを提供しています。

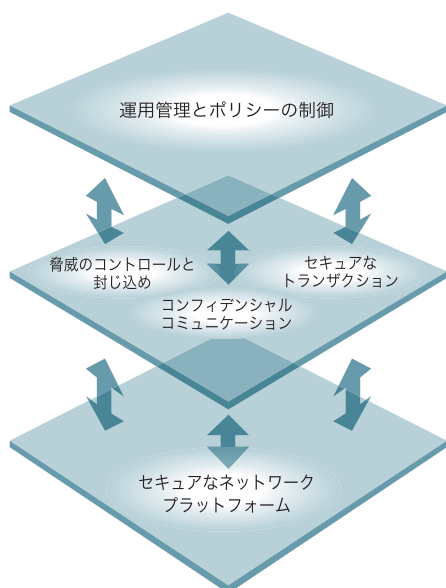


Cisco ASA5500シリーズ 適応型セキュリティ アプライアンス

多様化する脅威に対し、ネットワーク全体が自ら適応

自己防衛型ネットワーク・ソリューション

常に信頼できるITサービスを提供するには、ネットワーク・セキュリティが不可欠です。しかし最近のセキュリティ上の脅威は多様化・複雑化しており、ファイアウォールやアンチウィルスソフトなどの従来型セキュリティシステムだけでは、十分な対策とは言えなくなってきました。また、不正なPCのネットワーク接続などによって、情報を漏洩してしまうリスクも高まっています。このような問題を解決できるのが、シスコの**自己防衛型ネットワーク・ソリューション**です。



■事前に脅威を発見し被害の発生を防止

シスコの自己防衛型ネットワークは、セキュリティ上の脅威に対し、被害が発生してから対処するものではありません。脅威を事前に発見・防御し、被害が発生する前に封じ込めてしまいます。インターネットとの境界はもちろんのこと、内部ネットワークに接続される不正PCの脅威にも対応できます。ネットワーク上のすべての要素が、攻撃や脅威に自動対応することで、変異するウィルスやボットの活動も予防的に抑制し、ゼロディアタックの被害も未然に防ぐことができます。

■3レイヤで構成されるフレームワーク

自己防衛型ネットワークでは、基本的なセキュリティシステムは、ネットワーク全体にあらかじめ組み込まれます（レイヤ1）。また、必要に応じて、より高度なテクノロジーを用いたセキュリティサービスを追加することができます（レイヤ2）。そして、これらの運用管理とポリシーを、統合的に管理することもできます（レイヤ3）。これら3つのレイヤが一体となって機能することで、セキュリティシステムとして高い効果を発揮するのです。

■継続的な運用を支えるビジュアル化を支援

自己防衛型ネットワークは、単に脅威を防ぐだけではありません。どこでどのような問題が発生したのかを記録し、ビジュアル化して管理者に報告します。この機能により、発生したセキュリティ上の問題を分析し、今後の対応を迅速に決定することができます。P-D-C-Aサイクルによる継続的改善も容易になり、常に最善の対策を実施することができるようになります。

Advanced Technologies and Products



Cisco Aironet アクセスポイント ファミリー

堅牢なセキュリティの実現と企業の競争力を支援する

シスコ ユニファイド ワイヤレス ネットワーク

無線LANの登場によって、人々は固定された「デスク」から解放され、様々な場所で活動できる「モビリティ」を手に入れました。そしてその利用形態は急速な勢いで多様化しています。ネットワークの利用場所はオフィスビル内から社外へ、屋内から屋外へと拡大し、応用分野も在庫管理や医療分野、IPフォン、IPカメラへと広がっています。シスコはネットワークの可能性を最大限に引き出すため、最先端のネットワークテクノロジーを統合した無線LANソリューションを提供しています。VoWLAN (Voice over Wireless LAN) 機能、セキュリティ機能、位置検出機能、管理機能を実装しています。シスコなら、いつでも、どこからでも、どのデバイスでも利用できる、安定したセキュアな無線LANプラットフォームが実現できます。



Cisco MDS 9000ファミリー

データセンターの情報資産を効率よく管理・活用する

ストレージ ネットワーキング

シスコ ストレージ ネットワーキングは、ファブリックネットワークによって、高速かつ信頼性の高いストレージ接続を実現します。上位プロトコルにIPを採用したことで、アクセスの柔軟性を向上し、ストレージの集中管理が容易に行えます。大量データの有効活用を図り、ストレージコストを抑制し、ビジネスの継続性を向上できます。



Cisco WAEプラットフォーム

最先端のWeb2.0/SOA環境の構築を支援する

アプリケーション ネットワーキング

現在の企業ネットワークやインターネットは、Webやメールのためのファシリティではありません。Web2.0やSOAなどにより、双方向型コンテンツやビジネスアプリケーションなど、様々な種類のアプリケーションを利用するためのプラットフォームにもなっています。シスコ アプリケーション ネットワーキング サービス (ANS) は、シスコ サービス指向ネットワーク アーキテクチャ (SONA) の重要なコンポーネントのひとつで、End-to-Endで様々なアプリケーションのパフォーマンス・可用性・セキュリティの向上などを行い、総所有コスト (TCO) の改善を実現します。

全ての企業を次のステージへと導く ネットワークソリューション

ワークスタイル・ライフスタイルを変え、業務の最適化と生産性向上を実現

販売管理・顧客管理・生産管理などの重要なアプリケーションを、従業員が安全・快適に利用できる環境。チームメンバーが時間と場所を越えてコラボレートできる環境。優れた設計のネットワークは、業務環境を大きく改善し、そうした理想的業務環境を演出します。従業員のワークスタイルが変われば、ワークフローのボトルネックや問題を解消できるに留まらず、新しい顧客サービスを導入したり、マーケットをさらに深く掘り起こすような能動的ビジネス戦略を実施したりできるようにもなります。ネットワーク技術の導入を、セキュリティや運用コストにも留意しながら進めることや、フリーアドレスや在宅勤務のように、ワークスタイル・ライフスタイルを拡張して従業員のモチベーションを高めるようなネットワークの活用を進めることも、業務の最適化と生産性向上には効果的です。シスコは、中堅・中小企業にお手軽にご利用頂ける製品やアプリケーションを幅広く取りそろえ、最新コンセプトに基づくソリューションを、それぞれのビジネスニーズに合わせて、戦略的に活用頂ける体制を整えています。

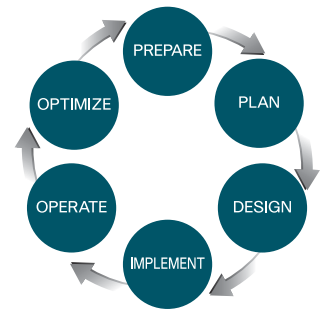


Services & Support

シスコでは、お客様に、ネットワークの先進技術を有効にご活用頂けるよう、
コンサルティングやノウハウの提供をはじめ、
ネットワーク活用のライフサイクル全般をカバーする様々なサービスを提供しています。

ライフサイクルサービス

シスコ ライフサイクル サービスは、新しい製品やテクノロジーを効果的にご導入頂くためのアプローチを提供するサービスです。製品やテクノロジーの導入ライフサイクルを、準備 (Prepare) ・計画 (Plan) ・設計 (Design) ・導入 (Implement) ・運用 (Operate) ・最適化 (Optimize) の6フェーズに区分して、それぞれのベストプラクティスを定義しており、ネットワークの構築や新しいソリューションの追加に必要な準備に始まり、ソリューション導入後にその能力が100%発揮されるよう運用・最適化するまでを、お客様の必要に応じて一貫もしくは部分的に支援することを目的としています。シスコでは、このライフサイクルサービスの考え方にに基づき、様々なソリューションを実現するためのサービスを豊富にご用意しています。



アドバンストサービス

アドバンストサービスは、ネットワークの計画から最適化まで、シスコライフサイクルに沿ったトータルサポートを提供するサービスです。ネットワークのパフォーマンスを最大限に高めるコンサルテーションと、クリティカルな障害への迅速かつ正確な対応により、お客様のネットワークに高いアベイラビリティを実現します。アドバンストサービスは、お客様のITインフラストラクチャーの戦略立案をサポートするPrepareフェーズのサポートから始まり、ネットワーク、セキュリティ、UCなどのテクノロジーのPlanおよびDesignフェーズ、導入したテクノロジーを最適な状況に維持するためのOptimizationフェーズまで、ライフサイクルにおける4つのフェーズを主にサポートします。

テクニカルアシスタンスセンター (TAC)

シスコでは、日本国内にテクニカルアシスタンスセンター (TAC) を設置し、製品の導入・運用・メンテナンスに役立つ技術情報・サポート情報を、日本語で提供しています。TACは、日本国内のお客様が、24時間いつでも必要な情報にアクセスし、問題を回避・解決できるよう、常に提供情報のクオリティ向上とスピードアップを図っています。

ネットワークソリューション コンペテンシー センター (NSC2)

ネットワークソリューション コンペテンシー センター (NSC2) は、シスコの最新機器や最新テクノロジーを導入する非常に高度なネットワークシステムの事前検証や、デザインコンフィグレーションのレビュー、ネットワーク評価テストなどを実施する、実地検証サポートセンターです。ネットワーク構築作業の上流から下流までを対象とし、ネットワークの信頼性やQoSの保証、音声やマルチメディアの統合、セキュリティ、ネットワーク管理などの課題を解決するための技術的支援を、一貫したシームレスなサービスとして提供しています。

品質センター

シスコでは、成田空港近所に品質センターを設け、製品を日本国内のお客様にお届けする前に、厳しい最終検査を実施しています。米国で製造され検査を受けた製品は、成田空港に到着すると、この品質センターに持ち込まれ、充実した検査体制と厳しい品質管理基準の下で、外観検査・基本性能試験・負荷試験などの最終品質検査を受けた後に、お客様に届けられます。また、品質センターに蓄積される検査データは、シスコの製品開発・設計・生産拠点にフィードバックされており、グローバルレベルでの品質改善にも利用されています。



Network Solution Competency Center



品質センター



品質センター (製品検査)

シスコ技術者認定

インターネット技術者に要求される知識・技能を、到達レベル毎に認定するプログラムです。常に変化するネットワーク環境を安全に構築・管理できる人材を、世界中の企業が育成・確保できるよう支援しています。

シスコ チャネル パートナー プログラム

シスコの製品・サービスを販売・提供するパートナーを認定するプログラムです。サポート体制、シスコ技術者認定資格者、テクノロジー分野の専門性、顧客満足度などの観点から、パートナーをゴールド・シルバー・プレミア・セレクトの4レベルに区分して認定しています。また、特定のテクノロジーやソリューションを専門に販売・提供するパートナーは、別途「Specializationプログラム」によって認定しています。





Corporate Citizenship & Social Responsibility

シスコは、世界の人々がつながるヒューマンネットワークを支え、人々を新しい日常生活体験へと導くゲートウェイ企業として、社会に信頼される「良き企業市民」となるために、様々な形で社会貢献事業を行い、その社会的責任を果たしています。

高度人材アカデミーの活動を支援

高度人材アカデミー (AIP) は、福岡県が推進する「福岡IT戦略」の中核事業として、「最高位のIT人材を戦略的に育成し、その人材や知の集約をもとに、IT活用的高度化と地域の活性化を促進する」ことを使命として、2003年1月に設立され、主に人材育成のための教育講座を提供しています。「最高位のIT人材の育成」とは、単に技術知識のある人材を育成することを指すのではなく、ITを用いてビジネスプロセスを改善し、企業・自治体や団体・組織などの価値を高めるスキルを、実践的・経験的に身に付けた人材を輩出することを意味します。AIPの趣旨に賛同したシスコは、テクノロジーとノウハウの両面から積極的なサポートを行っています。

シスコ・ネットワーキングアカデミー

シスコ・ネットワーキングアカデミープログラム (NetAcad) は、世界各地の学校で学ぶ学生・生徒たちに、インターネットテクノロジーに関する技能教育を提供する実習と座学を組み合わせた総合的e-ラーニング・プログラムです。1997年米国で開始されたシスコ・ネットワーキングアカデミーは、現在では160ヶ国以上に拡大し、常時1万校以上のアカデミー校で160万人を越す学生が受講しています。日本でも1998年の開始以来、160校を超える学校で開講されています。シスコは学校教育を通じたインターネット技術者養成を強力に推進・支援しています。

アクセシビリティ

シスコは、製品・サービス・Webサイト・文書などを、あらゆる人々にとって使いやすいものに改良する努力を続けています。2003年に設立した「シスコ アクセシビリティ イニシアチブ」を通じて、アクセシビリティへの全社的な取り組みを強化しており、2006年にはアメリカ盲人協会 (AFB) から、荣誉ある「ヘレンケラー実践賞」を受賞しました。

インパクトフィランソロピー

シスコのインパクトフィランソロピーは、個々人が有意義な人生を生き、学ぶ機会を与えられ、他の人を助ける機会があるような理想的社会を目指すことにあります。シスコでは、そのために、目覚ましい仕事をしている非営利活動団体・組織を見つけ出し、その運営ポリシーや戦略を革新的テクノロジーによって具体化・統合化することによって、その潜在能力を長期的に拡大し続けるための支援を行っています。

環境経営

環境の世紀となった21世紀では、企業経営にも環境問題対策の視点が不可欠です。シスコは、省資源、省エネルギー、EUのRoHS (有害物質の使用規制) への対応、ISO14001認証取得など、ワールドワイドレベルでの環境経営に取り組んでいます。

ダイバーシティ

シスコでは、ビジネスには常に異なる視点・異なる感性・異なる思考が必須だと考えています。そのためには、従業員の「多様性と一体化」が、むしろ必然のビジネステーマになっており、世界各国・各地の異なる文化環境の下にある人材を積極的に雇用しています。また、「ビジネスの成功には、お客様・パートナー・サプライヤー・従業員・地域社会との相互連携が極めて重要」という考えを、あらゆる業務の基盤に据えています。

高品質経営

シスコでは、創業以来「お客様の成功を第一に考える」ことをモットーにしています。お客様に最大限の価値を提供するため、お客様のニーズを正確に把握した上で、それに応える手法をビジネスプラクティスとしてまとめ、品質改善ツールや品質改善プロセスに組み入れています。シスコは、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格ISO/IEC27001:2005認証や、個人情報保護マネジメントシステムのJIS Q 15001:2006認証 (プライバシーマーク)、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001:2000認証を取得しており、さらには、お客様の期待と実際の製品やサービスとの間にあるギャップを正しく認識するため、お客様からのフィードバックを集めて、製品やサービスの改善、お客様が望む分野への投資シフトや企業経営の高品質化にも役立っています。



ISO 9001
REGISTERED



Company Profile

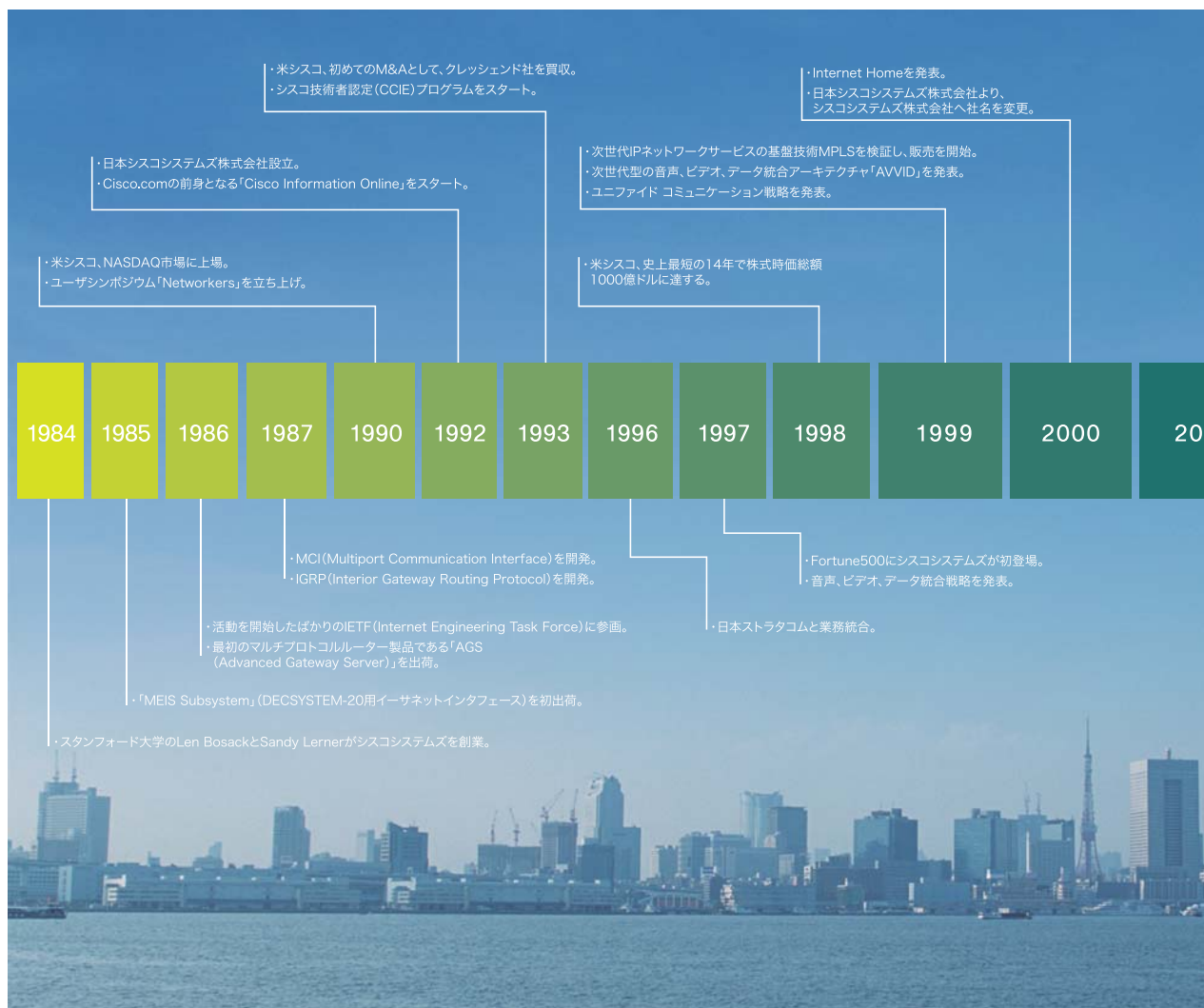
会社概要

(2008年4月1日現在)

社名	シスコシステムズ合同会社 (英文表記 Cisco Systems G.K.)
設立	平成4年 (1992年) 5月22日
資本金	4億5,000万円

所在地

東京本社	〒107-6227	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
新宿オフィス	〒163-0409	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル私書箱303号
札幌オフィス	〒060-0001	北海道札幌市中央区北一条西4-1-2 武田りそなビル 5F
仙台オフィス	〒980-6126	宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER (アエル) 26F
大宮オフィス	〒330-0845	埼玉県さいたま市大宮区仲町2-75 大宮フコク生命ビル2F
金沢オフィス	〒920-0031	石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル3F
名古屋オフィス	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル
大阪オフィス	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪MTビル 2号館7F
広島オフィス	〒730-0013	広島県広島市中区八丁堀14-4 広島八丁堀第一生命ビルディング5F
福岡オフィス	〒812-0039	福岡県福岡市博多区冷泉町5-35 福岡祇園第一生命ビル12F
沖縄オフィス	〒900-0033	沖縄県那覇市久米2-4-16 三井生命那覇ビル7F



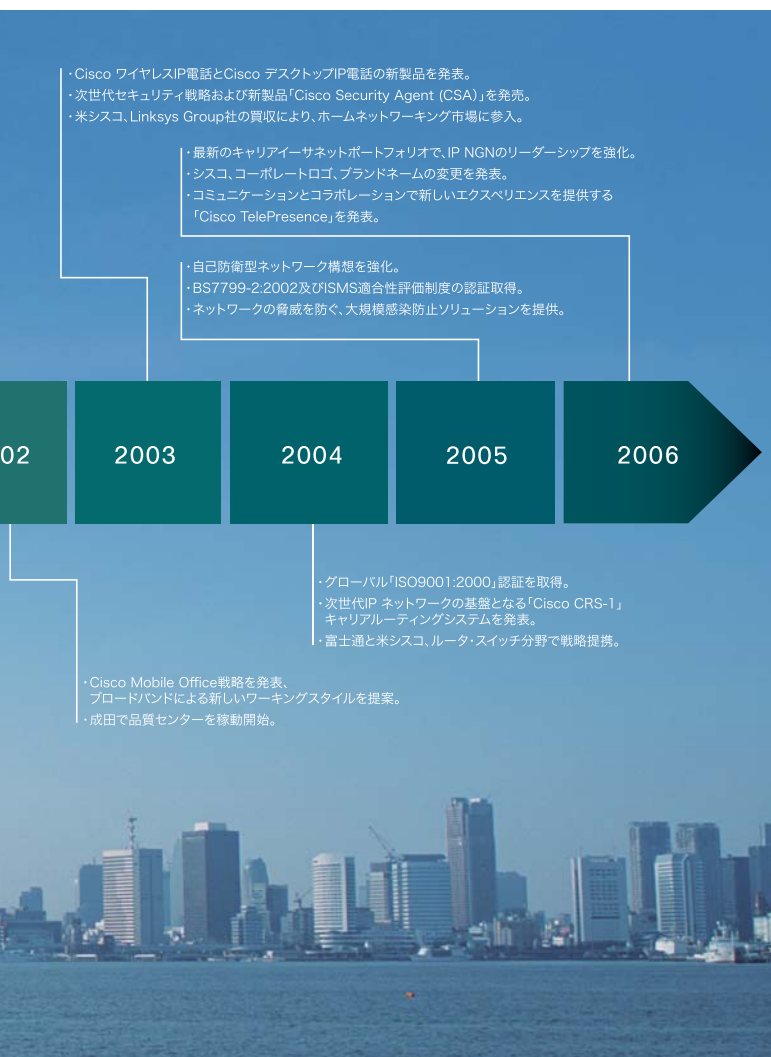
シスコシステムズ合同会社 マネージメントチーム

(シニアディレクター以上)

社長 兼 最高経営責任者 (代表者)	エザード・オーバーピーク
副社長	平井 康文
マネージング ディレクター	青葉 雅和
マネージング ディレクター	大塚 俊彦
マネージング ディレクター	堤 浩幸
マネージング ディレクター	中村 共喜
シニア ディレクター	木下 剛
シニア ディレクター	ギャリー・ターナー
シニア ディレクター	グレッグ・グライムズ
シニア ディレクター	ジェニファー・ケンプ
シニア ディレクター	富田 泰正
シニア アドバイザー	黒澤 保樹

出資者

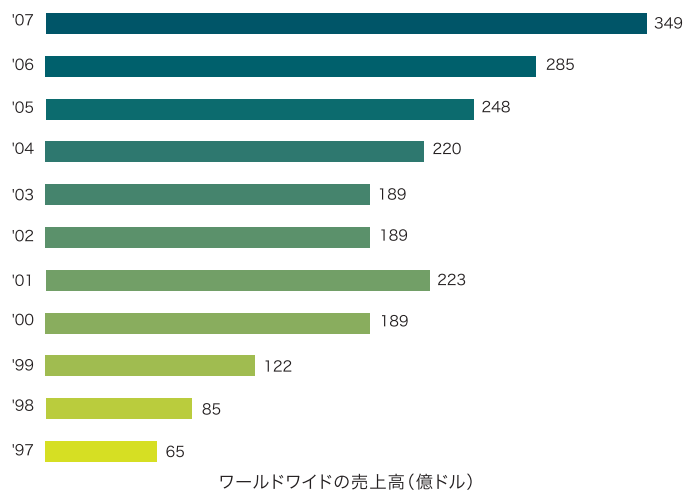
シスコシステムズネザerlandホールディングスビーヴィー (100%)



2007 Topics

- ・米シスコ、IronPort社を買収。
- ・エンタープライズブランチの生産性向上とビジネス拡大に貢献する、Cisco ISR サービス統合型ルータに新たな機能を追加。
- ・米シスコ、National Semiconductor Corporation会長兼最高経営責任者のブライアン L. ハラ氏を取締役に任命。
- ・米シスコ、Five Across社を買収。
- ・米シスコ、Reactivity社を買収。
- ・米シスコ、SpansLogic社を買収。
- ・シスコの適応型セキュリティアプライアンスを、トレンドマイクロ オリジナルパッケージで提供。
- ・米シスコ、連邦通信委員会前委員長マイケル・K・パウエル氏を取締役に任命。
- ・米シスコ、WebEx社を買収。
- ・米シスコ、NeoPath Networks社を買収。
- ・米シスコ、Utah Street Netwroks社の一部資産の買収を完了。
- ・シスコ、無線デュアル携帯電話N902ilを組み合わせた、デュアルモードIPテレフォニー ソリューションを提供開始。
- ・シスコ、社屋移転に際し、日通と協力してRFIDを使った実証実験を実施。
- ・米シスコ、BroadWare Technologies社を買収。
- ・シスコ、「自己防衛型ネットワーク」戦略のバージョン3.0を始動。
- ・シスコ、新たな初級技術者向け認定資格CCENTを導入。さらにCCNAを中規模ネットワーク専門エンジニア向けに拡充。
- ・シスコ、社名及び組織をシスコシステムズ合同会社に変更。
- ・米シスコ、Latigent社を買収。
- ・米シスコ、Cognio社を買収。
- ・シスコ、ユニファイドコミュニケーションの新概念 Cisco Unified Workspaceを導入。
- ・米シスコ、Navini Networks社を買収。
- ・シスコ、業界初の次世代802.11nドラフト対応ワイヤレス ソリューションで、モバイルビジネスを推進。
- ・シスコ、次世代エンタープライズソリューションを発表
- ・米シスコ、Securent社を買収。

売上高の推移



ワールドワイドの売上高は、米国連結決算に基づいており、日本の会計期間をもとにした売上高とは異なります。



シスコシステムズ合同会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/> お問い合わせURL:<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー 03-6434-6500 (代)



本カタログは環境保護のため100%再生紙および大豆インキを使用しています。

0191-0804-03A-T